

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成21年10~12月)のポイント

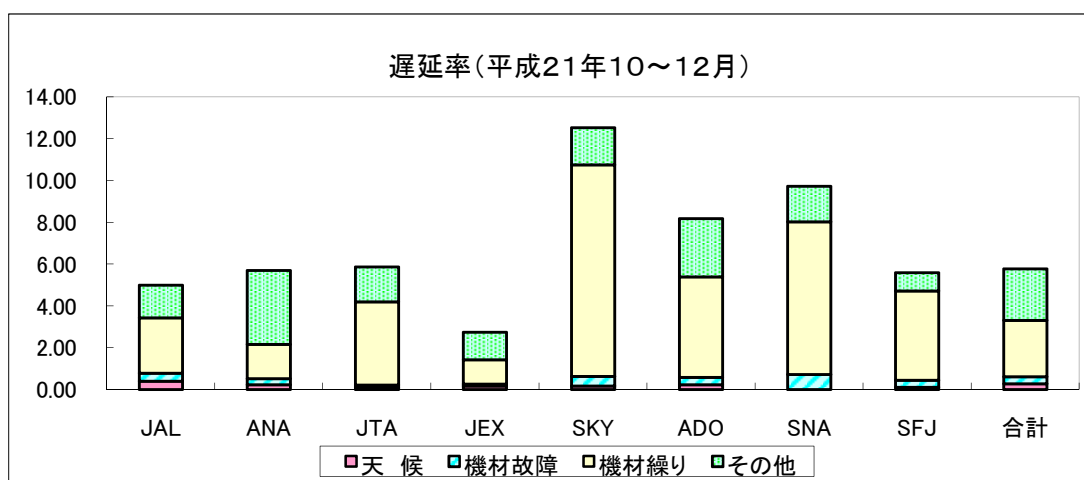
※日本航空(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、シャルエクспレス、スカイマーク、北海道国際航空、スカイネットアジア航空及びスターフライヤー

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成21年10月~12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
5.78%	5.41%	0.36ポイント増加

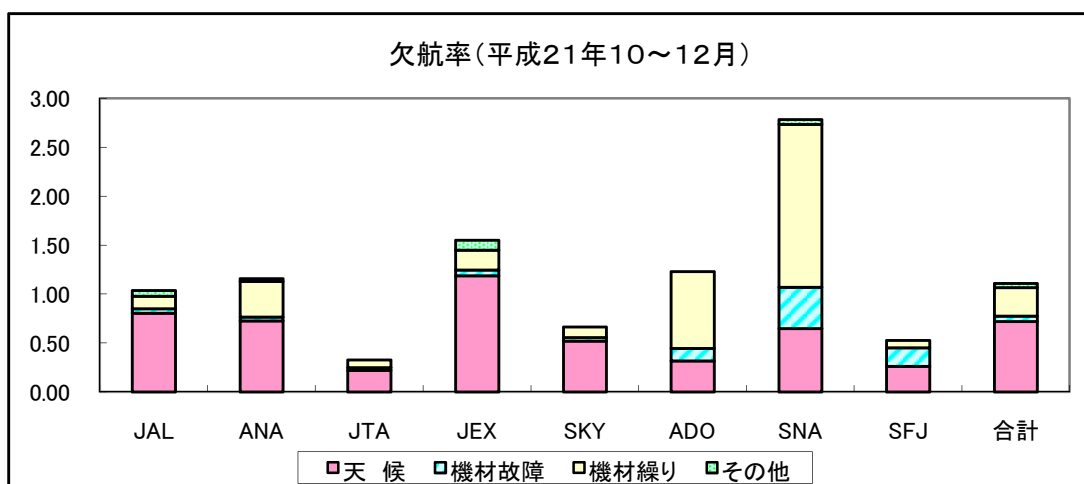
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成21年10月~12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.11%	0.71%	0.40ポイント増加



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成21年10月～12月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	906km	906km	増減なし
輸送人員	2029万1180人	2246万4658人	9.7%減
輸送人キロ	183億8133万人キロ	203億4258万人キロ	9.6%減
旅客収入	3098億56百万円	3543億64百万円	12.6%減
輸送人員あたり 旅客収入	15.3千円	15.8千円	3.2%減
輸送人キロあたり 旅客収入	16.9円	17.4円	2.9%減

(2) 路線別データ(平成21年10月～12月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	219万4907人
2位 東京＝福岡	194万4890人
3位 東京＝大阪	137万7580人
4位 東京＝那覇	127万3000人
5位 東京＝広島	54万3220人
全路線	2019万9978人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 関西＝函館	81.0%	1位 札幌＝利尻	18.5%
2位 広島＝札幌	79.5%	2位 東京＝大島	20.5%
3位 中部＝函館	79.4%	3位 中部＝徳島	22.2%
4位 羽田＝神戸	77.7%	4位 札幌＝稚内	25.8%
5位 那覇＝静岡	73.3%	5位 中部＝米子	33.5%
全路線	61.3%	全路線	61.3%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成21年10～12月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	北海道国際航空	1.20人	0.62人
②	日本エアコミューター	1.12人	1.15人
③	全日本空輸	1.05人	0.90人
	全社平均	0.69人	0.58人